

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	医療法人喬正会 グループホーム延齡草	評価実施年月日	平成19年6月1日～8月10日
評価実施構成員氏名	ホーム長 中山恵津子 計画作成担当者 秋保孝子 介護福祉士 浅野由紀子 2級ヘルパー 阿部恵未子 2級ヘルパー 本間昭子 2級ヘルパー 慶松貞子 2級ヘルパー 伏木田己佐枝 ケアワーカー 坂野京子 ケアワーカー 菅谷悦子 1級ヘルパー 山田浩三 通所担当		
記録者氏名	ホーム長 中山恵津子	記録年月日	平成19年8月10日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取 組 む 事 業 者 の 事 業 内 容 ( 実 施 し て い る 内 容 ・ 実 施 し て い な い 内 容 )	印 (取組んでい きたい項目)	取 組 ん で い き た い 内 容 ( 既 に 取 組 ん で い る こ と も 含 む )
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	認知症によって自立した生活が困難になった利用者様に対して家庭的な環境のもとで、食事 入浴 排泄等の日常生活の世話及び機能訓練を行う事により安心と存続のある生活を利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立して営む事が出来るように支援する。		グループホーム運営理念を朝の申し送り時日勤者交替で述べています。
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念は職員一人一人が述べる事が出来るよう朝申し送り時当番制で述べる。		ホーム内の壁に法人の理念グループホーム倫理綱領等掲示致しています。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	玄関に提示 契約書重要事項説明書に記載されています。入居契約時に家族に解りやすく説明しています。		面会者の友人又家族以外の来訪時質問を受け説明致しています。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	町内会へ加入し地域住民の一員として動いています。		利用者様との散歩道、地域との方々への挨拶を交わし馴染みとなって居ります。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会行事参加している。		春季、秋季クリーン作戦へ入居者と共に参加しています。春の花壇の手入れ入居者と共に参加し交流を保っています。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	2ヶ月に一回行われる運営推進会議の中で話し合いを行っています。		法人で開催される夏祭りの参加へ協力をいただいております。

3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	自己評価項目内容を会議の中で取り上げ確認を行う。	職員各自がグループホームを利用する事により個々の尊厳を大切に 対応する事を職員の意義改革へつなげています
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	運営推進会議 2ヶ月毎のホーム内では行事等の説明を行っている委員の方より質問又ホームとしての促かた等の質問を受けている。	質問等を議事録へ保管し改善へ繋げる事をさらなる向上へ努力しています。
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	随時情報の交流を図っています。	市役所主催の地域ケア会議へ参加し情報の交流へ努力しています。 同時にケアマネージャー会議家も参加しケアマネージャーだけでなく職員の自主学習として参加しています。
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	市役所主催地域ケア会議内での研修等で学び職員へ伝達を行っている。法人研修参加し個々に学んでいる。	現在、希望得る対象者はいませんが、家族の高齢化などにより必要なこととして、家族会などで活用できるよう備えている。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	1999年法人として虐待制限廃止令宣言	
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	行っています。	

13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の声、家族様の声を真しに受け止め週一回の会議又苦情の出現時都度カンファレンスを行っていせいは正への話し合いに取り組んでいる。</p>		<p>苦情等が出た時は全スタッフ集合させ早期の発見と是正に取り組む。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>・面会の折にホーム内での生活の様子身体の経過を報告 ・電話連絡 家族様へ郵送報告</p>		<p>日々密に報告しています。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見苦情を受けたときは法人へ報告する。法人内の対策処理を行っています。</p>		<p>家族様よりのアンケート用紙配布し声に出せない意見を提出頂いております</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営内容は法人規則の指示で運営されています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>配属された時点で各職員へ周知し勤務に就いています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>離職、異動については入居者様には伝える事無くさり気なく交替しています。</p>		<p>家族様へは担当職員の交替を報告しています。</p>

5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内研修参加、質の向上へ研修を重ねているスタッフ研修会(グループホームスタッフ研修会)</p>	<p>NPOグループホーム協議会員 年2~3回開催の研修会へ職員参加へ取り組んでいます。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>町内グループホーム協議会へ参加</p>	<p>法人の運営方針に沿い利用者様家族様の思いを受容し日々努力して居ります。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>日頃よりコミュニケーションの機会を多くし法人内親睦会、忘年会、職員同士、対話 交流の機会を設けている。</p>	<p>法人内の親睦会へ参加職員間楽しめるよう開催されています。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>自発的職員の意見を受け止め事業所に沿った動きへ取り組まれています。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>他事業所との入居事前の相談内容を受けています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>相談依頼に於いては他事業所との連携を取りながら入居希望者の見学、家族様の説明いたしています。</p>	<p>個人情報を守り対応しております。</p>

25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>依頼を受けた職員で相談員との検討を行い対応しています。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>本人、家族様事前に見学されての入居となっています。</p>		<p>事前の見学を受けている。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>入居時担当職員を紹介する。 本人家族様が安心して頂けるようにと入居時の荷物等家族が了解を得た場合共に整理し生活のスタートとしています。</p>		<p>居室内の整理整頓、職員と共に行う。外出時の洋服選び等共に行い楽しみますよう働きかけています。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>居室担当配置 日用品等の不足を連絡し家族の思いも傾聴できる職員対応教育しています。</p>		<p>業務会議、接遇委員よりの報告等で職員教育実施</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>家族様へは生活の様子をこまめに報告する事で入居者様のADL状況に異変があった場合に於いても理解されています。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族様の協力を得ています。</p>		<p>家族交流 法事 祝い事等家族様と共に行動いたしています。</p>

31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様は自由に自身のリズムを崩す事無く暮らしています。		掃除を好む入居者と共に行う 調理を好む入居者と共に行っています。 徘徊時後方より見守り同行しています。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	適時に対応連絡を行う。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向、家族様の意向を受け利用者様の望む生活が出来るようにカンファレンスに同席を得会議を行っています。		契約の時点で家族様の意向、本人の意向を受けています。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居相談時より御本人、家族様、相談員と連絡調整を行い情報を共有化。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	個人のライフスタイルを大切に受け止めながら個人の行動を見守り配慮に徹底いたしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	個人にとっての課題を取り上げています。担当者会議 家族様同席のもと居室担当者等の意見出し合いを行っています。		契約時入居に際しての本人の希望家族様の意向を聞き入れています。

37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>ケアカンファレンス、朝の申し送り等で入居者の状態の変化を把握しながら利用者様の症状の変化に応じた会議を行っている。</p>		<p>身体の変化、行動の変化を察しミーティングを行い利用者様の生活が安全な家庭生活を営まれる様計画しています。</p>
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の申し送りノートに記載する。 職員同士の情報意見を出し合い利用者様のニーズに取り組んでいます。</p>		<p>生活の様子を個別に日々生活記録に記載しています。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	<p>利用者様への状況、家族様への意向等を受け止め他機関との連携に対応しています。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	<p>近隣の会社、町内会、事務所、協力を得ています。近隣の文化施設、保育園等 交流 協力得ています。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>	<p>本人 家族様の希望に応じ対応しています。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	<p>法人連絡会議に参加し情報の共有化相談を行う。</p>		



43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>看護師配置し身体観察業務に就いています。</p>		<p>毎日のバイタルサインチェックする。申し送りを受け訪問Drへ連絡を行っています。24時間体制</p>
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>支援しています。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>看護師配置 訪問看護師への相談</p>		<p>訪問診察24H体制整備されていますので急変の相談等へも連絡できるよう整えています。</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>有ります。法人内連携が取れています。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>医療連携体制で整えています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備</p>	<p>医療連携体制で整えています。</p>		

49	<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>希望に対応いたしています。</p>	<p>希望に対応しています。</p>
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>法人内研修を受け職員一人一人の意識改善のもと研修を実施。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者様の視線に合わせ思いを傾聴し安心して暮らせるよう日々職員協力しています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者様は自由に暮らしている。</p>	<p>入居利用者様の行動を否定せず受容し支援しています。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>モーニングケア(入居者が好みの色柄を選び着衣の手伝いを行う)</p>	<p>理美容、家族様の依頼を受ける。家族様と専属の理容へ外出する入居者。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>毎日の献立表を入居者様が記載し食事の楽しみを味わうかけ作りを行っています。</p>	<p>入居者様が出来る事を声かけし行っています。調理の準備(千切り、いものかわむき、味付け等)配膳交互に行う。下膳各自行う。</p>

55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>おやつ購入 入居者様と共にショッピングへ外出し好みの種類を個々に選び楽しんでいきます。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>職員は排泄パターン把握しておりトイレへの声掛けを行っています。</p>		<p>排泄チェックパターン記載(個別対応)を行っています。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>当日の体の症状又前日の様子を把握し入浴の声かけしています。</p>		<p>職員共にゆぶねに入ります。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の活動により安眠できるように個々に配慮しています。</p>		<p>食事準備を好む入居者 散歩 レクリエーションを楽しめる入居者 外出 ドライブ、ショッピングへ出かけ心地良い疲れののと良眠されています</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>個々人の行動を阻止せず受け止め入居者様は自由に時間を使い暮らしています。</p>		<p>玄関下駄箱より靴を履き静かに出て行く姿を後方より見守りする。日々受け止め阻止しない介護に徹底。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>入居者様の希望を重視した範囲の中で要望に答え本人の満足いくように支援しています</p>		<p>小銭を持ち電話をかける入居者、管理は家族了解の上まかせておりません。</p>

61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>個々の身体の様子を見ながら外出への声掛けを行っています。</p>		<p>天気の良い日は散歩、ドライブ外出、ファミリーレストランでおやつを食べコーヒータイム(イトーヨーカドー 百合ヶ原 近隣の喫茶店)</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>遠足等は家族の同意を頂き外出いたしています。</p>		<p>家族様と温泉へ出かける入居者様。家族様の協力を得ながら一泊旅行企画を取り組みたいと思っております。</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>	<p>本人の希望を受けています。</p>		<p>自ら自宅へダイヤルを「まわす」行動を見守りです。市外よりの取次ぎも行っています。手紙、ハガキ、自由に行動し見守り致しています。</p>
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>面会 午前8:00～午後20:00 自由に受けております。</p>		<p>事前に連絡が来る場合に於いては体調の様子を伝えております。</p>
(4) 安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日々取り組み拘束致していません。</p>		<p>「抑制廃止」について 1999・7・1宣言(法人宣言)</p>
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>自動開閉となっています。</p>		

67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	見守り重視する職員訓練徹底しています。		職員互いに声かけあい常に行動周知している。その事により見守りが手薄になっても全スタッフ目配りが出来ます。
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	物品庫に一括管理しています。		台所用品(包丁、洗剤等)危険な品については鍵をかけ管理しています。
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	事故防止マニュアルに沿って研修をかさねています。		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	マニュアルに沿って行っています。		身体状況の悪化している入居者様の個別マニュアル(看護師)と話し合いマニュアルに沿って行動しています。
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	年2回避難訓練の実施。		防災会社の年2回の定期システム実施 防災地区より点検に入りアドバイスを受ける 非常口の確保を日々注意して居ります。
72	<p>リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	個別対応いたしています。		身体の状態に応じた対応を重ねています。

(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>日々個々の身体の経過を申し送りを行う。</p>	<p>職員互いに声かけあいケアする事により早期発見につながり対応いたしています。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方袋用紙の周知 診察時Drの指示を受け記載申し送りをする。</p>	<p>Dr看護師の指示申し送りノートに記載し送る。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>個人に合わせた盛付量に工夫しています。食材の硬さ、大きさ等個別に対応しています。</p>	<p>飲水量 薬の副作用の症状を促えDrへの連絡対応しています。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケア介助行う。</p>	<p>訪問歯科利用者(歯石治療) 家族様同行し歯科(歯石治療)受診</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>管理栄養士の献立計算に基づいて調理を行っています。</p>	<p>個別対応</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>院内感染マニュアルに基づき研修しています。</p>	<p>手洗い、うがい、消毒、清掃に心がけ徹底いたしています。</p>

79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	衛生感染マニュアルに基づき管理に取り組んでいます。		食材毎日業者より配達されています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	環境の整備 整地されている外壁の色看板で認識しやすい建物となっています。		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	全室フラット段差なしのバリアフリーとなっています。		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	全て一般家庭用の家具又は調度品を使用しています。		長椅子設置 TVを置き寛げるリビングとして使用しています。
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	本人と家族との話し合いの中で居室内の整理をする。		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	建物全室換気設備整えています。ホール 居室に換温度設置し適時換気を行っています。		個別に窓を開け空気の入替えをする。

(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	全建物造りがフラットスタイルとなっています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	個々の生活を活かしプランをたて「自分らしく暮らす」為に日々変動に創意工夫愛情もって対応しています。		
87	建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	入居者様の好みを把握し対応しています。		身体の維持として玄関前の往復散歩見守り同行庭の手入れ雪かきベランダへの洗濯物干し等共に行う。



サービスの成果に関する項目		取り組みの成果	
	項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	ニーズに沿って個々のプランをたてています。 外出外泊後入居者様「ああ帰ってきたと」笑顔
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	毎食事話しながらの食事の時間
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	各人が生活のペースを崩す事無く経過致しています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	外出時の笑顔と表情
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	家族の協力も得て行動致しています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	毎日看護師がする身体観察 申し送りでの日々の行動観察
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	季節 天候の変化に応じ対応しています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない	キーパーソンへの連絡調整こまめに報告している為 家族様の情報密に信頼されていると居ります。

96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	通所介護開始により来客者多いです。
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	家族の声 地域住民の声
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	頑張っていると確信できます。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	満足していると私は思われます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	満足していると思います。
<p>(特に力を入れている点アピールしたい点)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 接遇への取り組み</li> <li>2 学習会</li> <li>3 利用者様への尊敬を大切に職員資質への意識改革</li> <li>4 毎日の血圧測定</li> <li>5 水分煮沸後、冷蔵庫へ保管飲水に使用 (1日の水分摂取量1000CC以上)</li> <li>6 調理だし(こぶ かつお節使用)</li> <li>7 おやつ手作り</li> <li>8 汚染物は貯めず処分する、</li> <li>9 体重測定</li> </ol>			